校是　美しい心　丈夫な体

かけはし

飯豊町立第一小学校　学校だより　令和8年9月8日　第10号

学校HPはこちら
【QRコード】

「学び」の意味

先日のネットニュースにこのような記事が出ていました。

「ベネッセ教育総合研究所と東京大学社会科学研究所による『子どもの生活と学びに関する親子調査2025』によれば、この11年で学校外の学習時間(家庭学習・塾等も含む)は約2割減少した。」というものです。

本校も、昔に比べて家庭学習時間は短くなっていることを感じることがあります。実際に、今年度行われた全国学力学習状況調査において、平日1時間以上家庭学習をしている本校6年児童の割合は46.1%、県53.8%、全国49.9%でした。そして国語、算数ともに県よりもやや低いという状況です。

しかし、令和元年(現在の19歳)の本校6年児童の平日1時間以上家庭学習をしている児童の割合は、87.6%、県74.8%。全国66.1%で、県よりも、全国よりも学力(見える学力)は高いもので、算数においては5%以上も高い成績でした。

このデータからわかることは、全国的にも学習時間が減っていること、家庭学習時間と学力の関係は大きくかかわっていることです。家庭学習時間と学力には、一定の関係があることがわかります。飯豊町では平日の家庭学習時間を学年×10分＋10分を目安としていますので、まずは時間を確保することを入口として、その中身を充実させることを目標としたいです。

学力を上げるのは、学校だけではなかなか難しい部分があります。学校でも楽しく自学ができるような工夫をしたり、ご家庭の協力を得たりしながら、**子ども達の「学びの力」を伸ばしていきたい**と考えています。この「学び」とは　点数を上げることが最も重要なことではありません。子ども達が興味をもって調べたい、考えたい、やってみたいなどの**学びに対する意欲**です。

先日、朝会で「学ぶ」意味について学習指導部から全校生に向けて話がありました。

国語を学ぶことで、相手に伝える力、相手の思いをとらえる力、まとめる力という今後社会に出たときに大切な力がつきます。算数を学ぶことで、生活の中で必要な計算ができるようになり、数字と空間を関連させたり、ものごとの解決法を論理的に考えたりできるようになります。社会・理科を学ぶことで、自然事象、社会で起きていることなど、自分事として考えることができるようなります。様々な学びには、**これからの社会を担う子ども達の資質を向上させる意味があります。**

是非、ご家庭でも自主学習ノートをご覧いただいたり、お子さんの学習環境を整えてあげたりするなど、生活リズムの中に学習時間を位置付けていただければ幸いです。

※ 図にしたものを保護者の皆様にはHPとまなびポケットで配信していますのでご覧ください。

HPのQRコード→

研究授業　わかば学級・ひだまり学級から学ぶ

９月４日(金)　わかば学級・ひだまり学級の研究授業を行いました。教科における丁寧な指導は、先生方にとってのよい研修となります。集中を切らさず最後まで問題に取り組んでいた子ども達に拍手です。

白川ダム湖にて　カヌー体験　5年生

町のご厚意で、５年生がカヌー体験をしてきました。３年生も７月に行いましたが、３年生は総合的な学習の一環として、学校独自で行っています。

５年生については、飯豊町の観光、魅力について体験を通して学ばせていただきました。次回６年生も行う予定です。

ブラッシング指導　全校生

８ 月 25 日(火)歯科衛生士さんから、全校生を対象にしたブラッシング指導がありました。歯磨きをした後に、ピンクの染色液をつけて、磨き残しがないかを確認します。そうすると、磨けていない部分がピンク色のままなので、自分の歯磨きの癖がわかります。その部分を特にしっかりと磨けるようにするというものです。永久歯は失えば二度と生えてきません。自分の歯ですっとおいしく食べられるようにここで学んだことをどこでもいかしてほしいと思います。

4年生　総合的な学習　すげがさづくり

４年生では、総合的な学習として、地域の伝統工芸である「すげがさ」づくりを学んでいます。中津川在住の高橋力夫先生をお迎えして、何度も教えていただいています。「骨組みの次の段階から子ども達が実際につくる作業について、今までやった学校はない。難しいけれども、４年生に伝統工芸を学んでほしい」とお話されました。徐々に上手になっていく４年生。自分の作った花笠でーっ子フェスタで踊る。これが最終目標です。